

グラフで見る関西経済(2021年6月)

2021年6月25日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している

【今月のポイント】

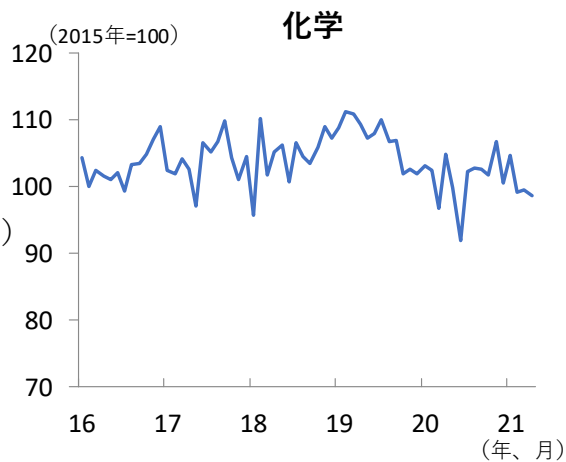
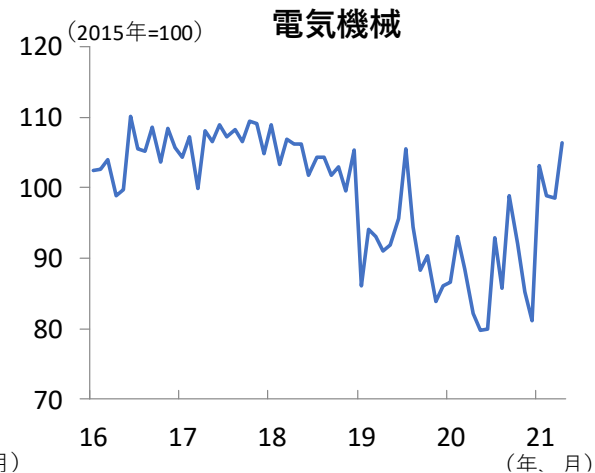
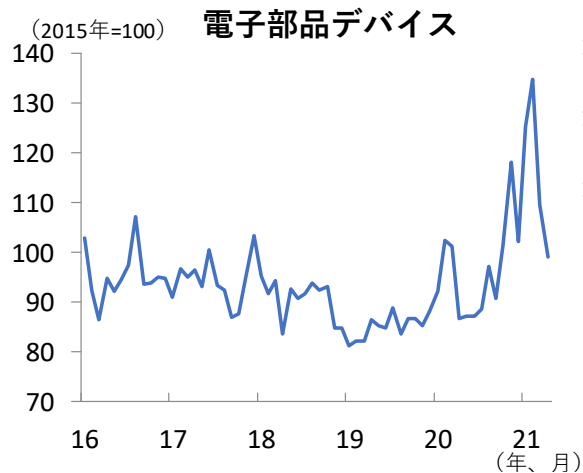
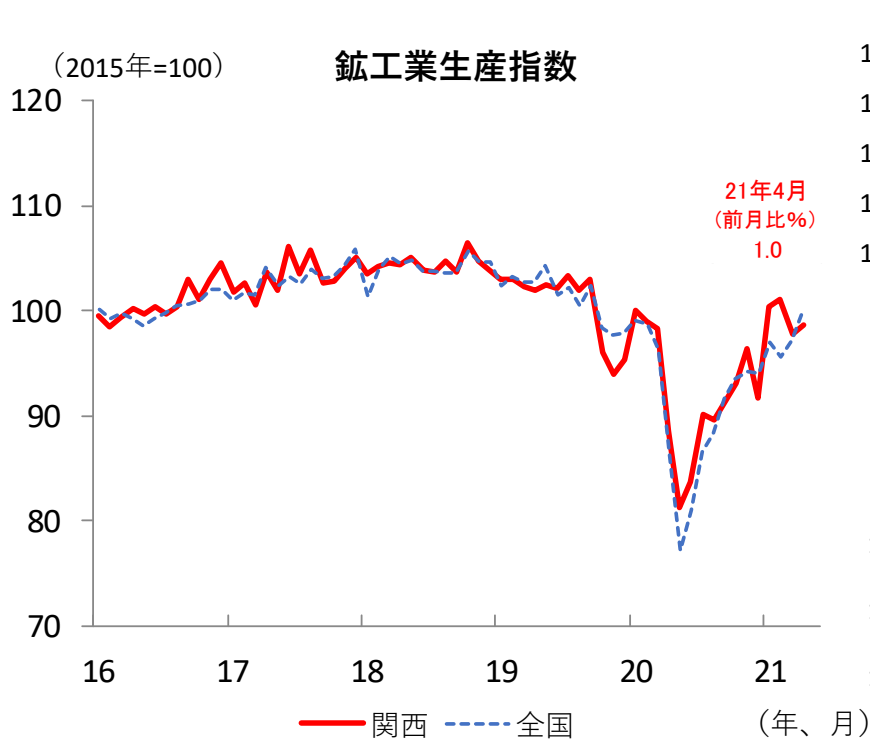
- 生産(4月)は2ヶ月ぶりに増加。電子部品デバイスは減少したが、汎用・生産用・業務用機械などが増加した。
- 実質輸出(5月)は前月比-0.1%と小幅減少したが、高めの水準を維持している。
- 賃金(3月)は20ヶ月ぶりに前年比プラスとなったが、一昨年比ではマイナス。
- 5月の百貨店売上(大阪)は、大阪府の休業要請もあって前年比-13.7%と、低水準であった昨年を下回った。
- 4月の住宅着工は、貸家が大幅に増加。

項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している
生産	持ち直している
輸出	増加している
設備投資	増勢が鈍化している
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している
個人消費	弱い動きがみられる
住宅投資	持ち直しの動きが見られる(↑: 横ばい)
公共投資	横ばい圏で推移している

注: ()内は前月からの変化の方向と前月判断

生産

4月の鉱工業生産(関西)は前月比+1.0%と2ヶ月ぶりに増加した。電子部品デバイス、化学などが減少したが、汎用・生産用・業務用機械、電気機械などが増加した。

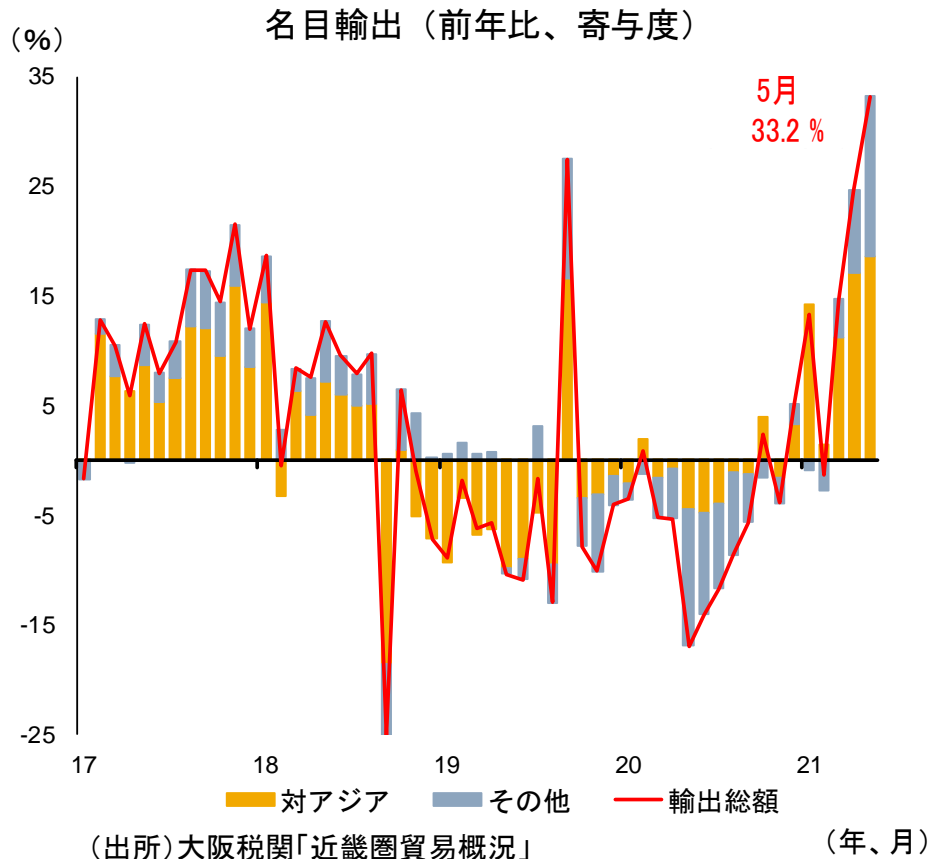


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

輸出

5月の名目輸出額は前年比+33.2%と3ヶ月連続で大幅に増加。地域別では、アジア向け輸出の寄与が大きいが、その他の寄与も拡大。品目別では、建設用・鉱山用機械、遊戯用具などが大幅に増加した。

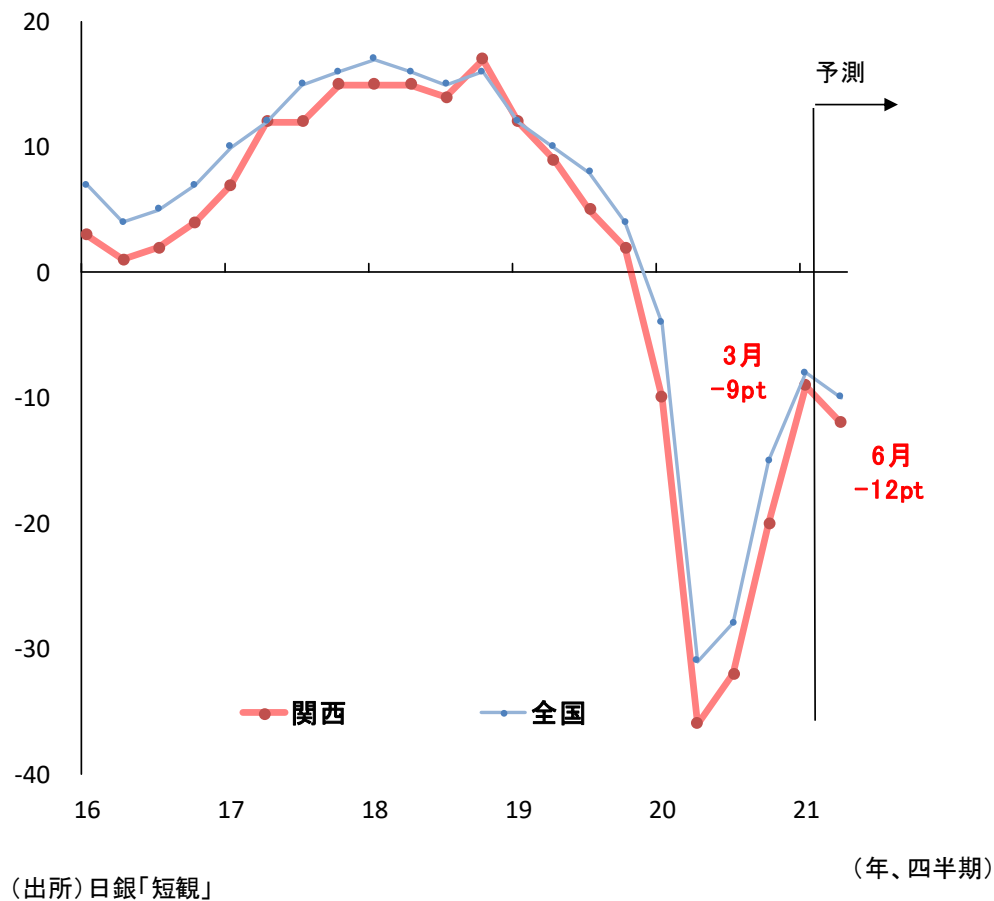
5月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比-0.1%と3ヶ月ぶりに低下したが、高めの水準を維持している。



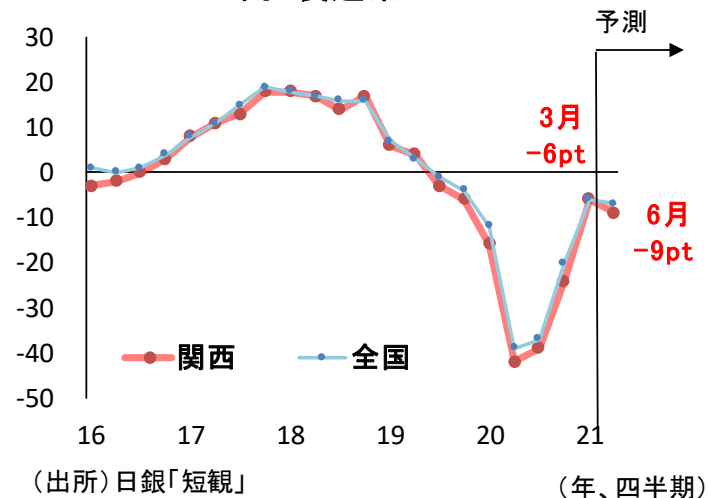
企業景況感(日銀短観) ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月調査の業況判断DIは全産業で-9ptと12月調査から改善。製造業は-6pt、非製造業は-14pt。先行き(6月)については、全産業、製造業は悪化、非製造業は小幅改善が見込まれている。

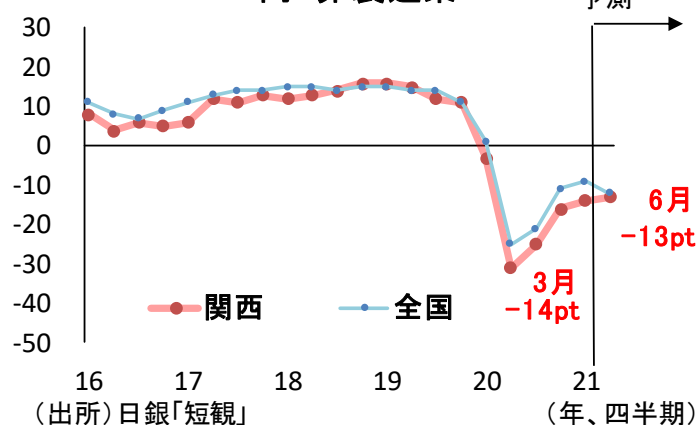
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

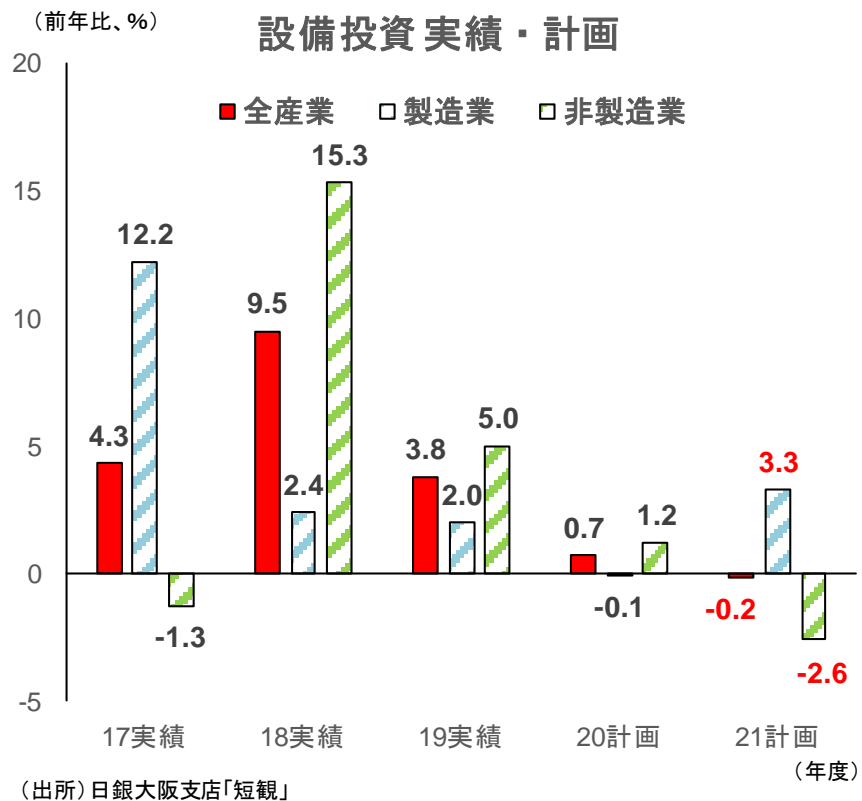


同 非製造業



設備投資 ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月調査によると、20年度の設備投資(計画)は前年比+0.7%の増加が見込まれている。製造業は減少、非製造業は増加の見込みであるが、いずれも12月調査に比べ下方修正となった。21年度は、製造業で増加、非製造業で減少の計画。不動産、対事業所サービスが減少に転じる見込み。



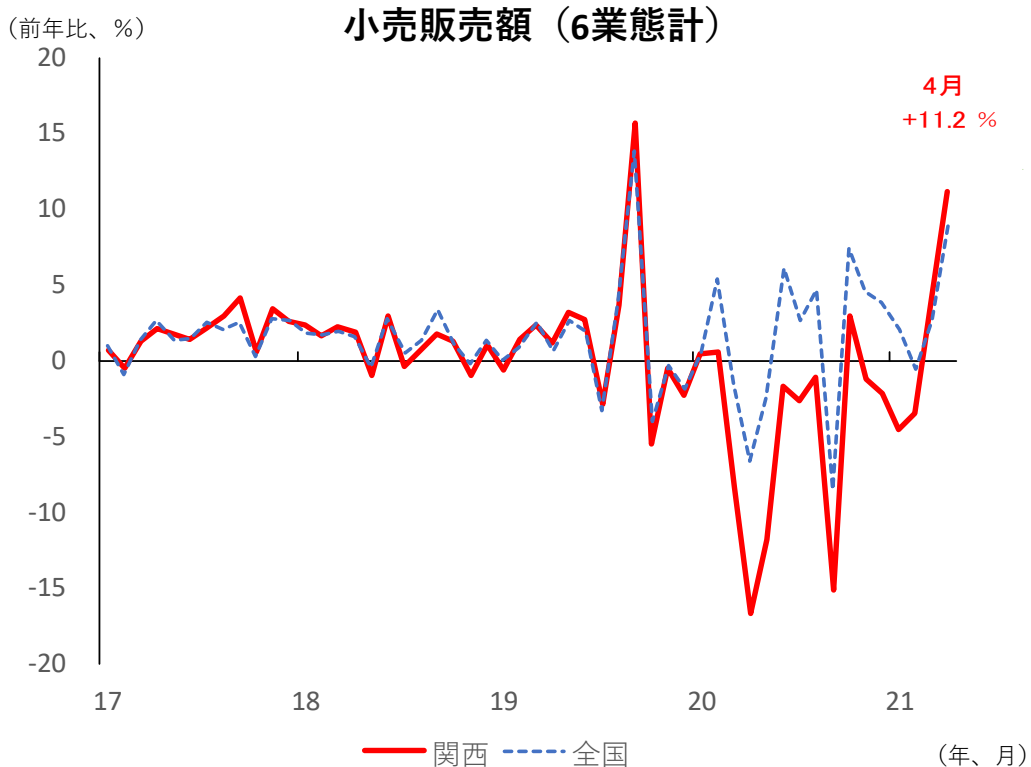
設備投資額(前年比%)

	19年度実績	20年度計画		21年度計画
		今回	12月調査時 [差異]	
全産業	3.8	0.7	2.7 -2.0	-0.2
製造業	2.0	-0.1	2.4 -2.5	3.3
非製造業	5.0	1.2	2.9 -1.7	-2.6

個人消費(小売売上、自動車販売)

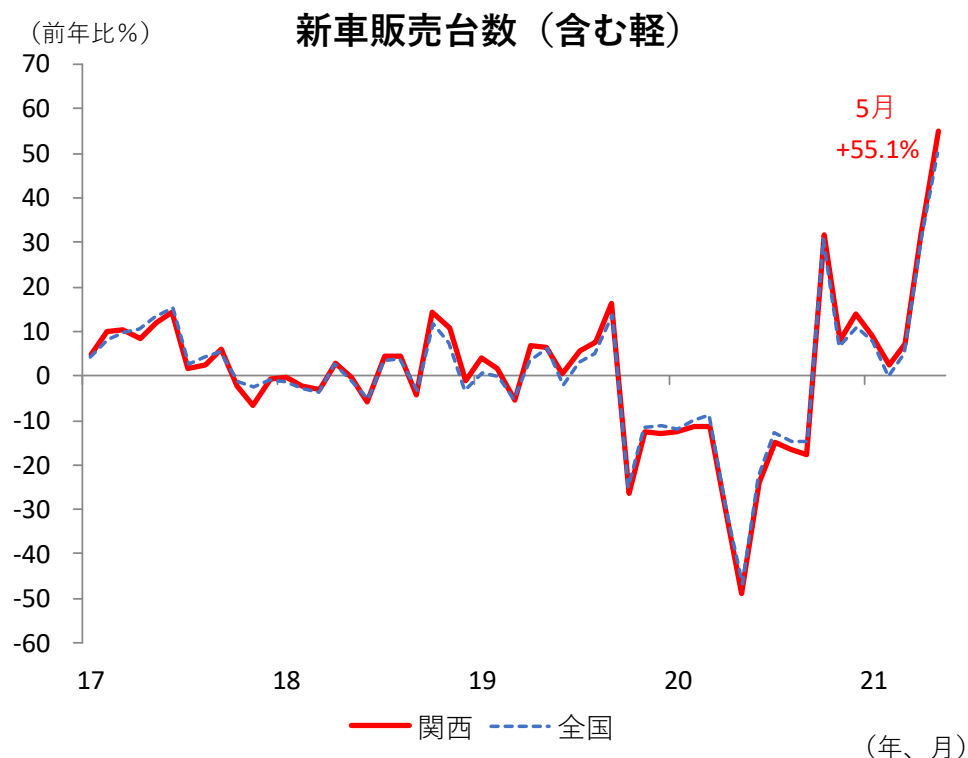
4月の小売販売額は、前年の水準がコロナ禍で低水準であったこともあり前年比+11.2%と2ヶ月連続で増加したが、一昨年比では-7.4%と基調は弱い。

5月の新車販売は前年の水準が低かったこともあり前年比+55.1%と大幅に増加したが、一昨年比では-19.6%と基調は強くない。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



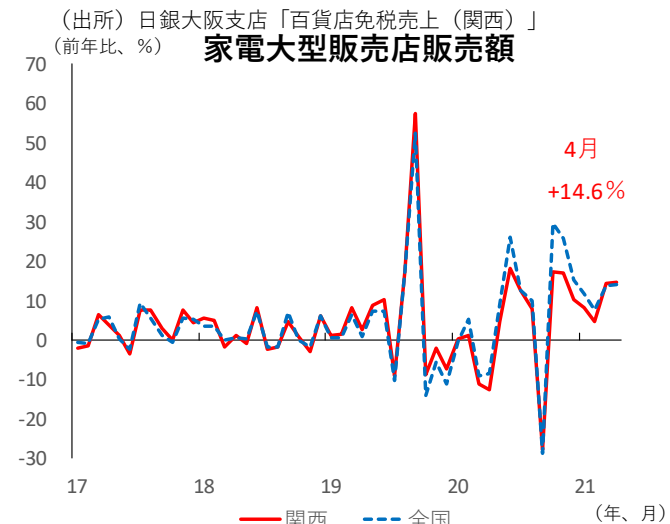
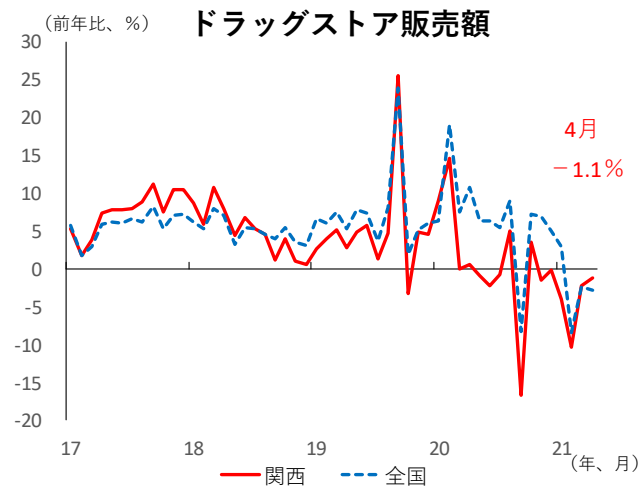
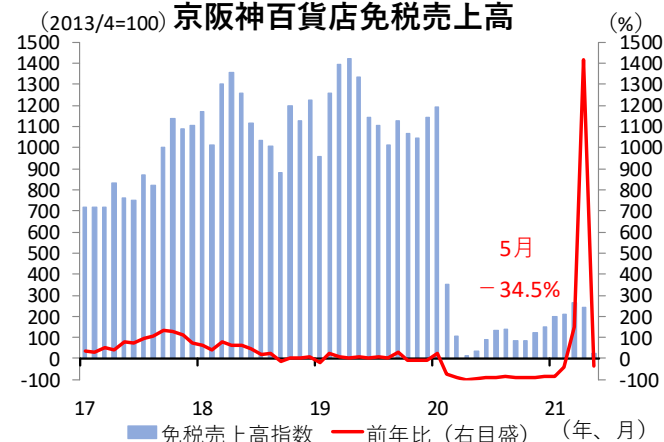
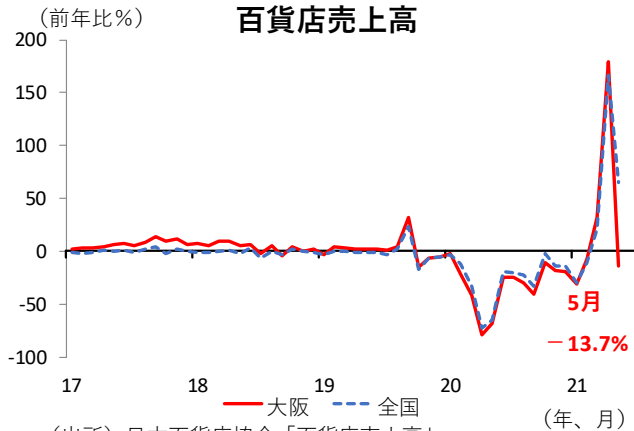
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

5月の百貨店売上(大阪)は前年比-13.7%と減少(京阪神免税売上は同-34.5%)。緊急事態宣言、大阪府による休業要請が響き、低水準であった昨年を下回った。

4月のドラッグストアは前年比で6ヶ月連続で減少、一方、家電は7ヶ月連続で増加した。



マインド・景況感

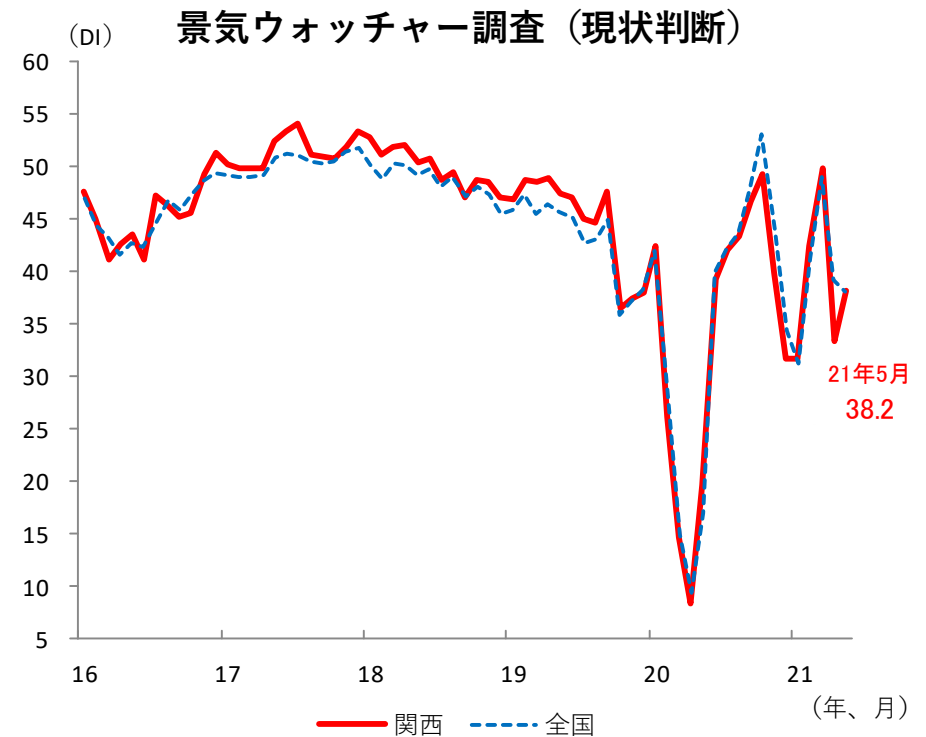
5月の消費者態度指数(季節調整値)は34.9と小幅ながら2ヶ月ぶりに上昇した。

5月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差+4.9ポイントの38.2と2ヶ月ぶりに上昇したが水準は低い。先行きについては、ワクチン接種が進むことによる改善が期待されている。



(注)関西の季節調整値はMURC試算

(出所)内閣府「消費動向調査」



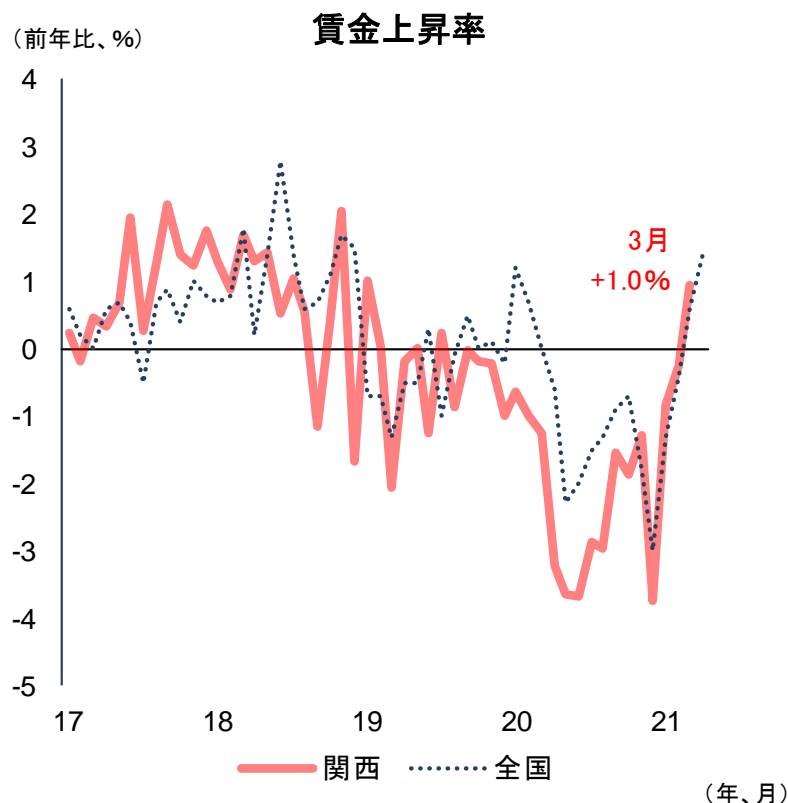
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

3月の名目賃金指数は、前年比+1.0%と20ヶ月ぶりに前年比で増加したが、一昨年比では-0.3%と減少している。

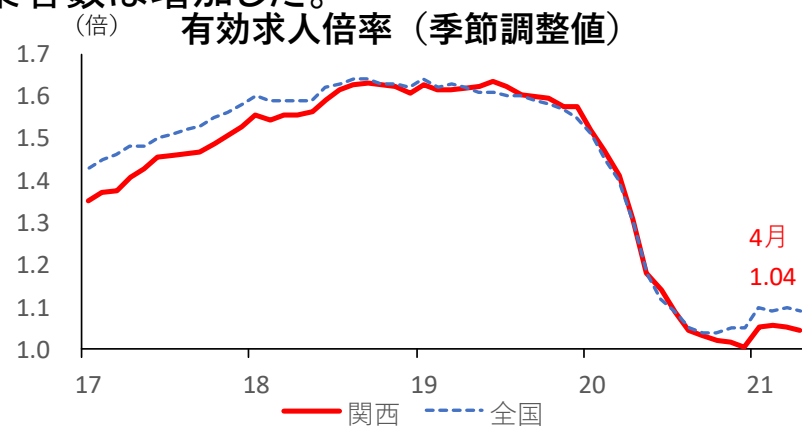
4月の有効求人倍率は1.04倍と前月(1.05)とほぼ同水準。求人数、求職者数ともに増加した。

21年1-3月期の失業率は3.2%と前期から横ばい。就業者数は増加した。

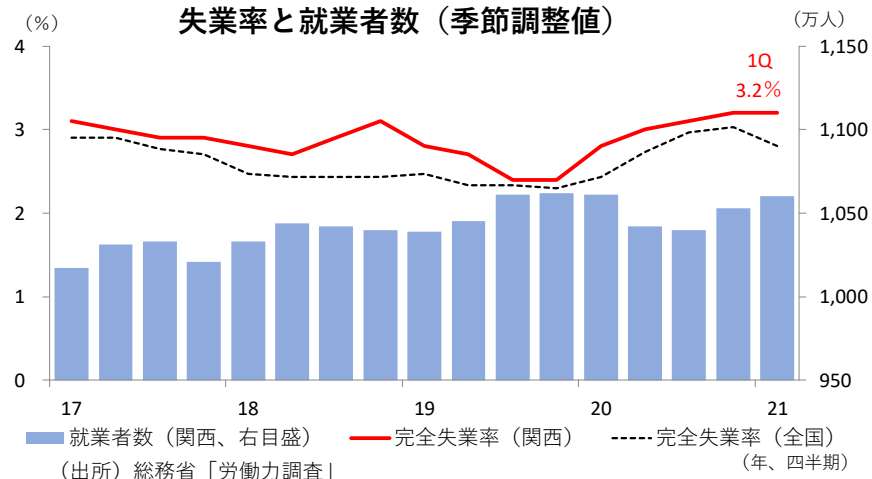


(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算

(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」

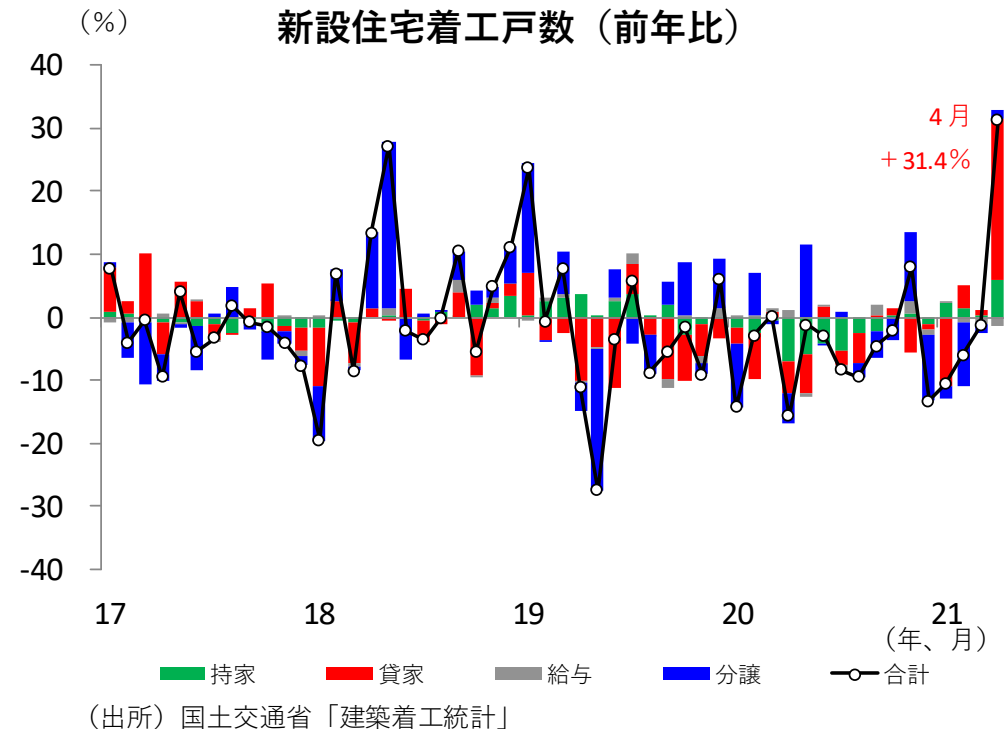
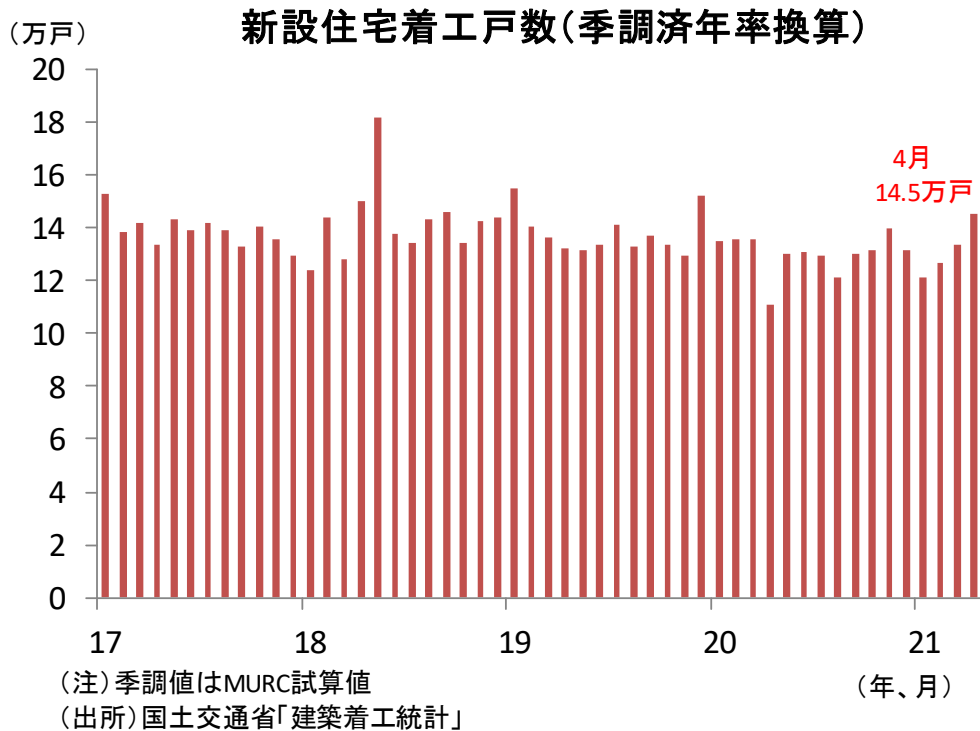


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」
失業率と就業者数 (季節調整値)



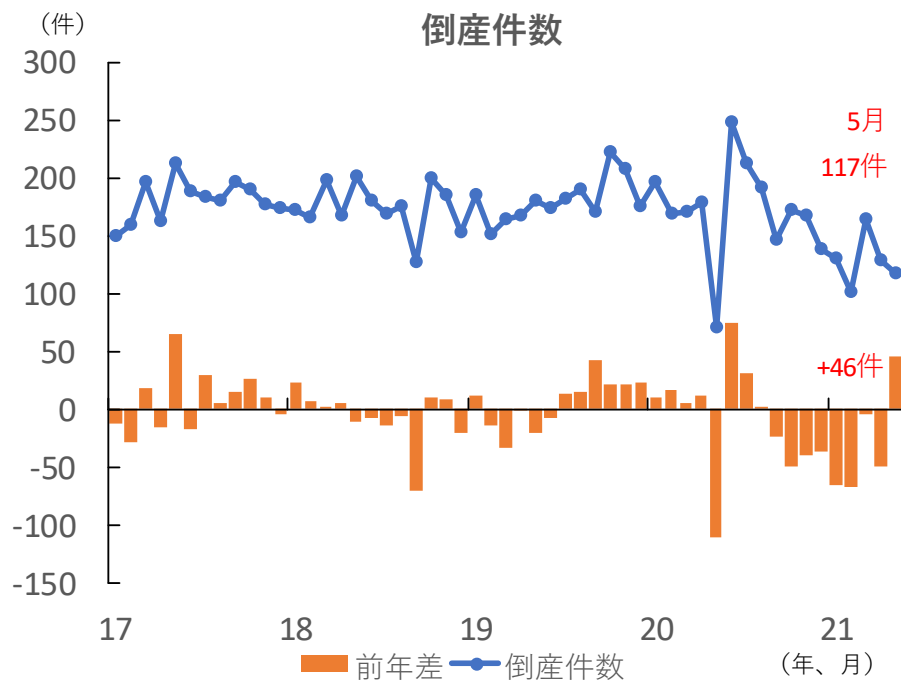
住宅投資

4月の住宅着工は季調・年率14.5万戸、前年比では+31.4%となった。持家、貸家、分譲戸建が増加。特に貸家が6,195戸と過去と比べても高めの水準となった。



倒産

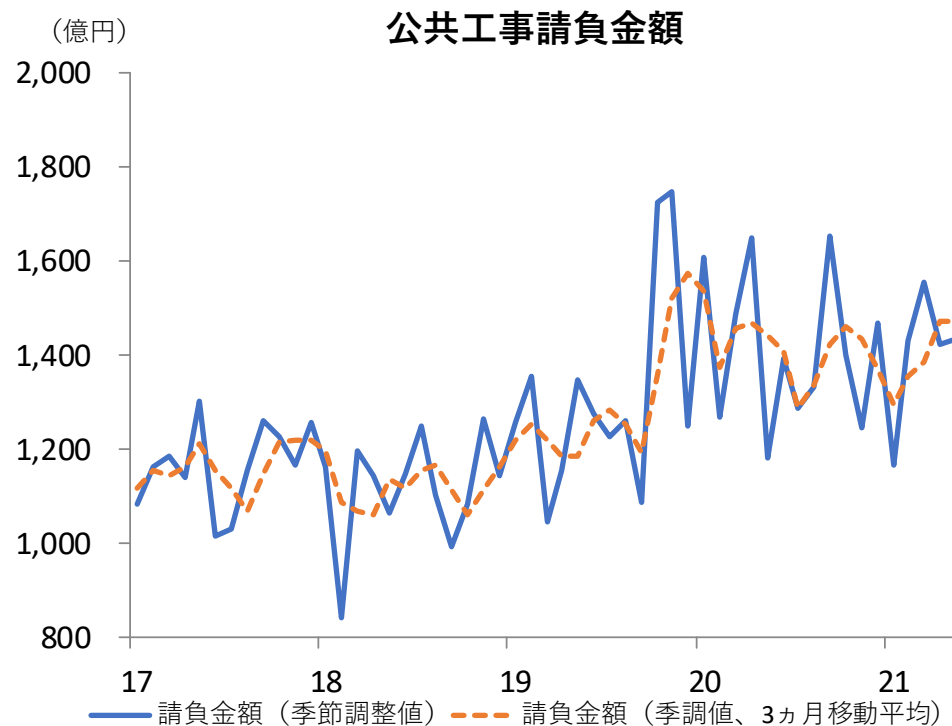
5月の倒産件数は前年同月が裁判所の業務停止により低水準であったことから、前年差で9ヶ月ぶりに増加となったが、件数は低水準で推移。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

公共投資は均してみると横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(年、月)

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください